

第31回 中四国精神保健福祉士大会 香川大会



PSW『わたし』と誇り ～私たちはこうありたい～

【日時】 2015年11月21日(土) ～ 11月22日(日)

【場所】 アルファあなぶきホール

【主催】 香川県精神保健福祉士協会

第31回 中四国精神保健福祉士大会 香川大会 実行委員会

開催のご挨拶

2002年に施行された精神保健福祉士法は、専門性の発揮、他職種との対等な関係性、精神保健福祉士の質の担保等、私たちPSWに多くの希望をもたらしました。しかし、国家資格制定後16年が経過した今日、社会的役割期待が増える中で、先達が大切にしてきた「コンパッションの重視」、Y問題の教訓から得た「かかわり」、札幌宣言にある「精神障害者の社会的復権と福祉のための専門的・社会的活動を進める」といったことの重みの希薄化が危惧されています。

今回の大会テーマは「PSW『わたし』と誇り～私たちはこうありたい～」です。大会テーマにある『わたし』の箇所にあなたの名前を入れてみてください。PSW『〇〇』としての誇りはどのようなものでしょうか。所属機関から求められる役割や業務に追われるのみではなく、その中に、PSWとしての自らの価値やアイデンティティは存在しているでしょうか。

今大会は、「語り合う」ことをキーワードに、それぞれの価値、思いを共有していただくことで、PSWとしての誇りを再確認することを目的としています。私たちの誇りは、一人では確認できるものではありません。所属機関を超えて、年代を超えて、県を超えて、仲間とのつながり、語り合いの中でこそ見出せるものです。今大会の2日間が、仲間と批判、評価し合うことで、みなさんのPSWとしての誇りを建設的に見出し、それぞれがPSWとしてあるべき姿を発見できる機会になることを願っております。

第31回中四国精神保健福祉士大会 大会長 富島 喜揮

大会プログラム

11月21日(土)	
9:30～10:00	プレ企画受付 ※プレ企画各会場前で受付します。プレ企画は別料金となります。
10:00～12:00	プレ企画 I・II
	プレI「中堅者の語り場～私たちの MUST～」 プレII「ソーシャルワークとしての障害年金申請支援 ～PSWが行う意味について考える～」
12:00～13:00	大会受付 ※プレ企画参加者も改めて受付をお願いいたします。
13:00～13:30	開 会 式
13:30～15:00	基調鼎談 「PSW『わたし』と誇り～先達から継承されるバトン～」
	休 憩(15分)
15:15～16:00	特別報告 「精神保健福祉士と倫理～私たちはこうありたい～」
	休 憩(10分)
16:10～17:40	放 談 「これからの県協会活動を考える～県協会の存在意義と協会員の主体性～」

11月22日(日)	
8:30～9:00	分科会受付 ※以前配布したチラシと受付時間が異なります。ご注意ください!!
9:00～11:15	分科会 1～4
	分科会1「自由研究発表」 分科会2「自由研究発表」 分科会3「私もスーパーバイザー～私たちはこうありたい～」 分科会4「サラリーマンソーシャルワーカーにならないために ～専門職としてのPSWを目指して～」
	学生交 流企画 「精神保健福祉士としてあるべき姿」 (一社)日本精神保健福祉士養成校協会 中国四国ブロック主催
	休 憩(15分)
11:30～11:45	閉会式

プレ企画 I

「中堅者の語り場 ～私たちの MUST～」

【対 象】実務経験年数 10 年以上～20 年未満 【定 員】20 名 【形 式】シンポジウムとグループワーク
 【シンポジスト】 **中四国各県協会推薦中堅者 3 名** (調整中)
 【ファシリテーター】 **星 昌子 氏** (公益財団法人 林精神医学研究所

林道倫精神科神経科病院 地域医療部長)

【参加費】 2000 円

【内 容】

PSW としての経験年数が 10 年を超えると、周囲から中堅と呼ばれ、それまでとは違った役割を自覚し始めます。この時期には、困難なケースの担当、所属機関内や職能団体の役職就任、後輩の養成や育成、講師依頼等、所属機関や社会からそれまでにはなかった役割が期待されるようになってきます。本来なら自己研鑽することが一番必要となる時期のはずですが、中堅者を対象とした研修会は少ないのが現状です。

そこで本企画では、シンポジストからの話題提供を受け、中堅者がこれから PSW としての誇りをもったベテランになるために必要な①つながりとは ②ワークライフバランスとは ③経験年数+αとは について中堅者同士で話し合います。同じ立場である中堅者同士によるグループワークを通して、それぞれの課題を共有しながら自らの立ち位置を確認し、これから自分たちが取り組むべきことについて一緒に語り合ってみませんか。

プレ企画 II

ソーシャルワークとしての障害年金申請支援

～PSW が行う意味について考える～

【対 象】障害年金申請支援について関心のある PSW 【定 員】60 名 【形 式】講 義
 【講 師】 **大歳 明子 氏** (独立行政法人 国立病院機構 賀茂精神医療センター)

【参加費】 1000 円

【内 容】

経済状況は、本人を取り巻く重要な環境因子の一つです。そのため、障害年金申請支援は、人と環境の全体関連性から捉える視点を専門性とする PSW にとって、重要な業務の一つとなります。しかし、時として事務的に処理されがちである障害年金申請支援をソーシャルワークとして行う際、遵守すべきポイントとはどのようなものでしょうか。

本企画は、PSW の価値である権利擁護、本人主体、自己決定の原則を守りながら、障害年金申請支援を展開する具体的な方法を学び、支援の中で PSW としての専門性を発揮するために必要な視点や方法を学ぶ企画です。ぜひ、一緒にソーシャルワークとしての障害年金申請支援を学びましょう。

〈演 題〉 「PSW『わたし』と誇り～先達から継承されるバトン～」

〈鼎談者〉 **柏木 昭 氏** (聖学院大学 名誉教授

聖学院大学総合研究所スーパービジョンセンター 顧問)

門屋 充郎 氏 (NPO 法人十勝障がい者支援センター 理事長)

梶元 紗代 氏 (医療法人社団造山会 まきび病院訪問看護室 室長)

〈座 長〉 **富島 喜揮 氏** (第 31 回中四国精神保健福祉士大会 香川大会 大会長)

〈内 容〉

精神保健福祉士法成立後、精神保健医療福祉の改革ビジョン、精神保健福祉士法の改正等といった社会的背景を受け、PSW(精神保健福祉士)に求められる役割が多様化してきています。このような社会的役割期待の変化を受け、PSW アイデンティティを開拓してきた PSW と国家資格化後の精神保健福祉士との間で、業務内容へのこだわり、職業アイデンティティ、価値観にズレが生じてきているという声が多く聞かれます。しかし、私たち PSW(精神保健福祉士)は、柔軟な可変性を求められる一方で、確固たる不変性を備えているはずで。

そこで本企画では、地域と医療それぞれの分野における PSW 実践の先駆者である柏木氏、門屋氏、梶元氏を鼎談者に迎え、長年にわたる実践から得られた PSW としての誇りをテーマに語り合っていただきます。鼎談を通して、PSW の業務を自省的ではなく、建設的に「誇り」をもってとらえ、後輩 PSW に継承したい PSW の不変性について学びます。

〈演題〉 「精神保健福祉士と倫理～私たちはこうありたい～」

〈報告者〉 詫間 佳子 氏 (香川県精神保健福祉士協会 会長)

照下 善則 氏 (香川県精神保健福祉士協会 健全化に向けたガイドライン作成委員会 委員)

〈内容〉

2013年6月に開催された公益社団法人日本精神保健福祉士協会第1回定時総会において、香川県精神保健福祉士協会会員でもある構成員の除名に関する議案が提出されました。この件に関する香川県精神保健福祉士協会(以下、当協会)の取り組みについて報告します。

当協会では、事実関係の確認、背景の分析、再発防止と倫理向上の提言を目的として、香川県精神保健福祉士協会および(社)日本精神保健福祉士協会香川県支部健全化推進委員会(以下、推進委員会)を2011年度総会で承認の上、設置しました。推進委員会の取り組みの本質は、事の責任を個人に帰するのではなく、会員一人ひとりの問題として共有するため、自浄作用として自分たちが向き合い、調査、分析することにあります。さらに、推進委員会の報告から得られたことをベースとして、問題を風化させることなく、課題を一般化し、倫理に関する自己研鑽に役立たせるため、「精神保健福祉士の倫理ガイドライン～私たちはこうありたい～」を作成しました。

大会参加者には、この冊子を配布し、当協会会員一人ひとりが、何を問われ、何に向き合ってきたのかを報告し、精神保健福祉士としての価値と倫理について再考するとともに、協会としてあるべき姿について考え、共有する契機とします。

〈演題〉 「これからの県協会活動を考える

～県協会の存在意義と協会員の主体性～」

〈話題提供者〉 中四国各県協会推薦中堅者3名 (調整中)

〈司会〉 齋中 康人 氏 (香川県精神保健福祉士協会 副会長)

〈内容〉

各県において、協会主催の定例研修会をはじめとした協会活動への協会員の主体的参加のありようは、中四国大会における連絡会議で毎年取り上げられる共通の課題となっています。県協会の存在意義は、所属機関や年代の枠を超えた仲間とのつながり、身近な自己研鑽の場、自らの実践を客観的に見る視座を養う場等多様なはずで、PSW実践の振り返りは、決して一人で洞察できるものではなく、仲間に語る、語りを聴く中でのみ客観性を持つことが可能となります。しかし、中四国9県が共通に抱える課題からは、PSW自身の孤立化が推察できます。これは、PSW実践の質の低下にもつながりかねない喫緊の課題でもあります。

そこで本企画では、中四国各県協会より推薦を受けた3名の中堅者に、これからの県協会活動がどうあるべきか、また、協会員の協会活動への主体的参加を得ていくための取り組みについて、日頃考えていることを自由に話し合ってください。話し合いを通じて、主体的に県協会活動に参加する意義について皆さんと考える機会とします。

中四国各県協会会員による自由研究発表 (4題)

〈座長〉 田中 晋 氏 (医療法人仁風会 八雲病院)

中四国各県協会推薦中堅者 (調整中)

中四国各県協会会員による自由研究発表 (4題)

〈座長〉 松宮 透高 氏 (公立大学法人 県立広島大学 保健福祉学部人間福祉学科 准教授)

中四国各県協会推薦中堅者 (調整中)

分科会Ⅲ

11月22日(日)9:00~11:15

- 〈演題〉 「私もスーパーバイザー～私たちはこうありたい～」
〈対象〉 中堅～ベテラン
〈定員〉 50名
〈形式〉 グループワークと講義
〈講師〉 河合 宏 氏 (医療法人梁風会 こころの医療たいようの丘ホスピタル 地域医療連携室課長
(公社) 日本精神保健福祉士協会 認定 SVR)

〈内容〉

ある程度経験年数を重ねてくると、所属機関内外を問わず、後輩からケースについて相談を受ける機会は生じてきます。しかし、いざSVとなると、どのように後輩に向き合い、後輩の話を聴けば良いのでしょうか。SVという言葉は聞いたことはあっても、受けたことがないため、具体的にはわからないという中堅、ベテランPSWも多いのではないのでしょうか。

そこで本企画では、①SVの本来の意味合いについて ②SVRの立ち位置及びSVEへの向き合い方について ③所属機関を超えたSVの意味合いについて 考える機会とします。これら3点について考えることを通じて、SVに対する怖い、厳しいというイメージを変え、SVR、SVE双方にとってのメリットに気づき、それぞれの県において取り組む動機づけとなることを目指します。ぜひ一緒にSVについて学びましょう!!

分科会Ⅳ

11月22日(日)9:00~11:15

- 〈演題〉 「サラリーマンソーシャルワーカーにならないために
～専門職としてのPSWを目指して～」
〈対象〉 実務経験年数4年までの方
〈定員〉 50名
〈形式〉 グループワーク
〈内容〉

「こんなPSWになりたい!!!」と希望を抱きつつ就職したものの、就職と同時に所属機関から求められる役割に追われ、業務をこなしていくことに精一杯になっていませんか。PSWとして大切にしたいことを意識し、自らのかわりに誇りを持っていますか。

新人を対象とした本企画は、新人PSWの模擬事例を用いて、PSWの主体性について考えます。所属機関から求められる業務をただこなすだけでなく、自らかかわるの必要性を持ち、PSWの価値やアイデンティティを大切にしながら業務に向き合えるよう一緒に考えましょう。明日からの現場実践への希望を抱ける企画です。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

学生交流企画

11月22日(日)9:00~11:15

- 〈演題〉 「精神保健福祉士としてあるべき姿」
〈主催〉 (一社) 日本精神保健福祉士養成校協会 中国四国ブロック
〈対象〉 学生
〈定員〉 40名
〈形式〉 話題提供とグループワーク
〈話題提供者〉 調整中
〈内容〉

現場で活躍する先輩PSWの話題提供後、グループワークを行います。現場実践の話から、精神保健福祉士の専門性について理解を深める機会とします。現場で活躍するPSWに触れ、他の学校の学生とのつながりの中で、さらに学びへの意欲が高まることを期待します。学生の皆さん!!これが精神保健福祉士を目指すターニングポイントになるかもしれません!!ぜひ、ご参加ください。

大会参加特典



精神保健福祉士の倫理ガイドライン
～私たちはこうありたい～

第Ⅰ部 精神保健福祉士のあるべき姿

1. クライアントに対して
2. 精神保健福祉士どうして
3. 社会に対して

第Ⅱ部 事例から考える精神保健福祉士の倫理

1. クライアントの価値の尊重
2. クライアントの自己決定の尊重
3. 個人情報を扱うことに対する責任
4. 協会活動の意義
5. 次世代の育成
6. 先行世代からの学びと精神保健福祉士のアイデンティティ
7. 所属機関の中での危機意識
8. コミュニティワークの実践
9. 地域の課題に積極的に取り組む県協会

PSW 倫理実践ハンドブック!!

懇親会

11月21日(土) 18:30~20:30

リーガホテルゼスト高松エメラルド 2階

先着 180名!!

なあなあ、香川の懇親会ちゃ、どいなんな?

それがやな、聞いたんやけどな…

うるそのうて、香川げな、ええ
音楽で始まるんやて。

名刺わっせたら、
こらえんで!!

シャトルバスも
つこてつかな

おもっしよいゲームもある
げなで。

食べるもんは、香川の海の幸
山の幸で、うまげなんやて。
※うまげ：リッばな。素晴らしい。

酒もまけまけいっぱい飲め
るきん、ええで。

うどんも食べらしてく
れるきん、おなかががい
におきるんじゃわ。

なんなそれ、がいにうまげなやん。
ほんだら、行かないかんやん。
一緒に行かんのな!!

※がいに：とても。すごい。

晩げに遅うまで、皆で、
ようけ言いまわらんな!!
※「夜遅くまで、皆で語りあかそう!!」

あの、しゃべらない?ゆるキャラも緊急参戦!?

大会参加にあたって

◆ プレ企画について

プレ企画は有料企画(定員有)となっております。先着順とさせていただきますので、お早目のお申し込みをお願いいたします。なお、プレ企画と大会開会まで時間の余裕がございません。プレ企画参加者は、昼食のご準備をお願いいたします。

◆ 大会参加費について

県協会とは、各県協会に所属されている方であり、(公社)日本精神保健福祉士協会の入会状況は問いません。

◆ 撮影・録音について

会場内の撮影・録音は、第31回大会長が許可した方に限ります。その他の撮影・録音は硬くお断りいたします。

許可のない撮影・録音行為が認められた場合、会場スタッフが記録媒体からデータの消去等、然るべき対応を取らせていただきますことをご了承ください。

問合せ先一覧

● 大会内容に関して

【大会事務局】医療法人社団五色会 五色台病院 担当:宮本・筒井
〒762-0023 香川県坂出市加茂町 963 番地

TEL:0877-48-2700 FAX:0877-48-2886 Email:psw.kagawa@gmail.com

※大会情報は、香川県精神保健福祉士協会ホームページ(<http://kagawa-pswjimdo.com/>)にて随時更新中!!

● お申込み方法及び宿泊に関して

株式会社フジトラベルサービス トムズ丸亀営業所 担当:福山・神野
〒763-0092 香川県丸亀市川西町南 1280-1 フジグラン丸亀 専門棟

TEL:0877-57-2420 FAX:0877-57-2421

「第31回 中四国精神保健福祉士大会」 香川大会 参加登録(参加登録・宿泊・懇親会)のご案内

2015年11月21日(土)～22日(日)に高松市にて『第31回 中四国精神保健福祉士大会』が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。各地より大会にご参加されます皆様方の参加登録・懇親会・宿泊のお申し込み・受付を、(株)フジトラベルサービス トムズ丸亀営業所にて承ることとなりましたので、下記の内容にてご案内申し上げます。

尚、参加登録(申込)は、10月25日(日)までにご登録いただきますようお願い申し上げます。

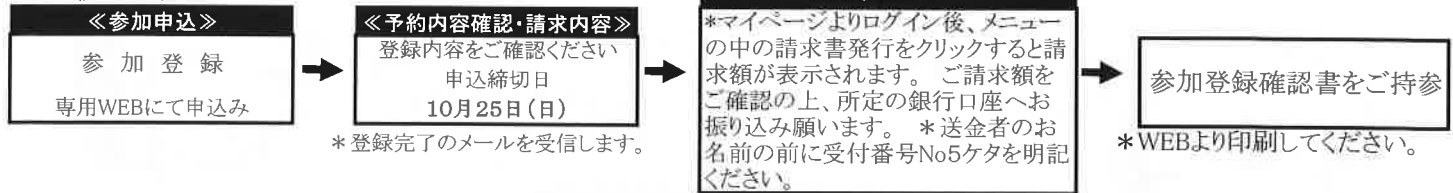
1. お申込方法

①大会専用WEBサイトよりお申込みください。 **申込締切10月25日(日)まで**にWEBサイトよりお申込みください。

(希望にそえない場合もございますのでご了承ください。)

②大会当日、参加登録確認書(参加登録・宿泊・懇親会)を印刷し必ずご持参の上、受付窓口にてご提示ください。

●手続きの流れ



③ご変更・お取消の場合もWEBサイトより登録をお願いいたします *お振込手数料はお客様ご負担にてお願い申し上げます。

●予約内容確認方法 ご登録完了メールより“マイページログインURL”をクリックしてください。

メールアドレスとパスワードを入力して“マイページ”にログインしてご確認ください。

参加登録確認書、お振込みの案内につきましては、マイページよりダウンロードしてご確認ください。

※個別の請求書が必要な方は、個別にてお申込みください。

2. 参加登録のご案内

1) 期 日 2015年11月21日(土)～22日(日)

2) 会 場 アルファあなぶきホール(香川県高松市玉藻町9-10) ☎087-823-3131

3) 申込方法 大会専用WEBサイトよりお申し込みください。 *香川県精神保健福祉士協会 検索
URL: <http://kagawa-psw.jimdo.com/>

3) 参加費用 県協会員:6,000円、非協会員:7,000円、学生:2,000円、
プレ企画Ⅰ:2,000円、プレ企画Ⅱ:1,000円

注) 分科会について

2日目の分科会は全てWEB申込順の受付となりますので、希望者多数の場合は調整させていただく場合がございます。

2日目の学生交流会は、学生のみ予約登録ください(定員40名)。

3. 懇親会のご案内 ※参加費用はお一人様あたりです。

1) 期 日 2015年11月21日(土) 18:30～20:30

2) 開催場所 リーガホテルゼスト高松 (大会会場から徒歩で約8～10分です。無料(片道)バスあり)

3) 参加費用 7,000円 (先着180名)

4. 登録料について

●登録料(参加お申込み1名につき) . . . お一人様¥540円申し受けます

※参加申し込み締切後の取消の場合、登録料は申し受けますので予めご了承ください。

5. 宿泊のご案内 / 宿泊日 : 2015年11月20日(金)・21日(土)

● 宿泊代金と利用ホテル一覧 (下記料金は、お一人様1泊朝食付、税金・サービス料込の料金です) ※宿泊施設は、高松駅より概ね5分圏内です

地区	No.	宿泊施設名	宿泊代金(お一人様)			◆交通のご案内◆
			タイプ/洋室		食事条件	
			シングル	ツイン		
高松駅付近	1	JRホテルクレメント高松	13,000円	12,000円	1泊朝食付	JR高松駅より徒歩1分
	2	高松ターミナルホテル	7,600円	6,700円	1泊朝食付	JR高松駅正面出口より徒歩1~2分
	3	ビジネスホテル ルピナス	5,300円	---	1泊朝食付	JR高松駅より徒歩2分
高松駅近郊	4	リーガホテルゼスト高松	8,700円	8,200円	1泊朝食付	JR高松駅より徒歩12分、タクシーで5分
	5	オークラホテル高松	6,700円	5,800円	1泊朝食付	JR高松駅よりタクシーで約5分
	6	ドゥーミーイン高松	8,000円	8,300円	1泊朝食付	JR高松駅よりタクシーで約7分
	7	高松ワシントンホテルプラザ	7,500円	---	1泊朝食付	JR高松駅よりタクシーで約7分

※宿泊は、(株)フジトラベルサービスが企画・実施する募集型企画旅行となります。

6. お支払い・取消料について

● お支払い方法

ご入金先のご案内 注)振込手数料は、お客様負担にてお願いいたします。 予めご了承ください
振込先 百十四銀行 フジグラン丸亀出張所 普通 0000035 名義:(株)フジトラベルサービス
 ※ 銀行振込は、“マイページログインURL”よりメニューの請求書をご覧いただき、**所定の期日 10月30日(金)まで**にお振込ください。

● 取消料一覧(大会参加・懇親会・宿泊)利用の場合

取消日	ご利用日の前日から起算してさかのぼって		7日前~当日まで	旅行開始後の取消し・無連絡
	21日前まで	20日前~8日前まで		
大会参加	無 料		全 額	
懇親会	無 料		全 額	
宿 泊	無 料		全 額	

● 確認書(チケット)発送について *送付するチケット類はございません。

- ①各自にて登録完了メールの“マイページログインURL”より、参加登録確認書をダウンロードし、プリントアウト(印刷)を大会当日ご持参ください。
- ②大会専用WEBより宿泊をお申し込みの方については、宿泊当日、各宿泊施設フロントにて直接お名前をのべてチェックインしてください。
*各施設/チェックイン時間: 15:00~、チェックアウト時間: 11:00です。

● 領収書(宿泊)について

宿泊領収書が必要な方は、下記までご連絡ください。 大会開催中または大会終了後、お渡しいたします。

【第31回 中四国精神保健福祉士大会 香川大会 受付デスク係】

担当: 福山正治・神野一生

〒763-0092 香川県丸亀市川西町南1280-1 フジグラン丸亀 専門棟

TEL: 0877-57-2420 FAX: 0877-57-2421

◆営業時間/午前10:00~午後19:00 ◆定休日/日曜・祝日

◆旅行お取り扱い/ 株式会社フジトラベルサービス トムズ丸亀営業所

担当: 福山正治、神野一生 インターネット: <http://www.fj-t.jp/>

総合旅行業務取扱管理者: 福山 正治

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業895号

 **フジトラベルサービス**

トムズ丸亀営業所

(社)日本旅行業協会正会員 旅行業公正取引協議会会員

7. 会場および宿泊先のご案内

●アルファあなぶきホールまでのご案内（大会会場）



●懇親会場&ホテル案内図

